

2024年度入学試験問題・参考作品

外国人留学生特別選抜・帰国生特別選抜

造形学部

- 002 日本画学科
- 003 油絵学科油絵専攻
- 004 油絵学科グラフィックアーツ専攻
- 005 彫刻学科
- 006 視覚伝達デザイン学科
- 008 工芸工業デザイン学科
- 009 空間演出デザイン学科
- 010 建築学科
- 011 基礎デザイン学科
- 012 芸術文化学科
- 013 デザイン情報学科

造形構想学部

- 014 クリエイティブイノベーション学科
- 015 映像学科

帰国生特別選抜

- 017 造形学部・造形構想学部全学科共通

編入学選抜

- 018 造形学部・造形構想学部

修士課程選抜

- 022 造形研究科[A日程]
- 026 造形研究科[B日程]
- 030 造形構想研究科[A日程]
- 031 造形構想研究科[B日程]

博士後期課程選抜

- 032 造形研究科
- 033 造形構想研究科

※参考作品は、入学試験合格者の中から選定しました。

※受験生の文章は原則として原文のまま掲載しましたが、誤字脱字は一部訂正しました。

※2025年度入学試験の詳細は、大学webサイトで必ず確認してください。

鉛筆デッサン(3時間)

【問題】

あなたが大学へ入ってから描きたい作品をイメージして鉛筆デッサンしなさい。

【条件】

1. 答案用紙は縦横自由。
2. 答案用紙の裏面中央に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

出題意図と評価のポイント

外国人の入試ではここ数年、自画像を中心に出題していたためなのか、基礎的な技術は高くなってきたが練習した技術であり絵画的に魅力を感じる表現が少なくなったと感じた。そのため今回は面接でも実技作品の意図を聞くことで、大学に入ってからどのような表現を模索していくのかまで含めて試験を行った。従来と同様に基礎的な描写力、構成力、独自の視点があるかなどをポイントに絵画表現として総合的に判断した。

【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙(A2画用紙)×1枚
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

●面接

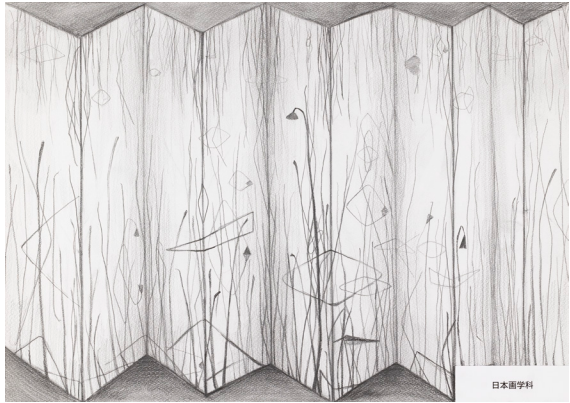
日常生活に必要な日本語でのコミュニケーション能力や、本学への志望動機、入学後の研究、制作への意欲、そして卒業後の進路など将来の展望についてどのように考えているかなどを質問して評価した。また、面接でも鉛筆デッサンの制作意図などの質問を行い総合的に判断している。



日本画学科

教員コメント

昨年の試験を想定していたのか自画像と思われる人物を中心とした作品であったが、描写表現の確かさと構成力が魅力的であり評価した。入試において自由な表現を求めるとかなり物語性の強い作品が多くなるが、将来的に自由な発想を表現するとしても身近な現実をどう見つめ表現していくかが、その表現への原点であり、この作品にはその資質が感じられ評価した。



日本画学科

教員コメント

画面全体に屏風を想定したと思われる形態が描かれておりその強い構成が目をつけた。デッサンで構想しているものをイメージして描くといっても下図やスケッチを求めているわけではなく、また立体を構想として提示する場合、設計図のようなものになってしまうような難しさのぞくが、この作者の場合はしっかりと絵画表現として考えられた空間があり、屏風の中の植物の表現も構成としても効果的であり評価した。

油絵(6時間)

【問題】

机上のモチーフを自由に描きなさい。

【注意事項】

デジタル時計の表示は現在時刻を示していないが、試験の進行に伴い表示は進んでいく。

【条件】

1. デジタル時計の時刻は、任意の一つの時刻でかまわない。
2. キャンバスは縦横自由。
3. キャンバスの裏面中央に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

【配付物】

1. 試験問題
2. F15号キャンバス×1枚
3. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

出題意図と評価のポイント

道路を模した環状コースターの上に以下のモチーフを配置した。

- ・中空の透明オーナメントボール
- ・ブリキの水差し
- ・坊ちゃんカボチャ
- ・積み重ねられた色付きグラス
- ・発光するデジタル時計

デジタル時計の変化していく数字が意識させる時間という概念の捉え方、映り込みの多いモチーフ同士の複雑な関係性や質感の違いなど、置かれた多くのモチーフをどのように解釈し構成するか、自身の表現に対する積極的な理解と意欲が問われる設問



教員コメント

それぞれのモチーフがしっかりと描写されており、美しい色彩も大変に魅力的な作品である。特にコースターの映り込みの表現の巧みさには特筆すべきものがある。限られた制作時間であるにもかかわらず、世界観を表現するために必要な、幅広い意味での描写力が評価のポイントとなった。作品の隅々まで作者の意識が行き届いている力作である。



となっている。

世界観を表現するために必要な、幅広い意味での描写力が評価のポイントとなった。

●面接

まず提出作品について説明をしてもらい、さらに作品制作全般のことや、好きな作家についてなど、日頃考えていることを知りたい。また本学へ入学してからどのようなことを学びたいのか、将来の展望や興味関心事などを自分の言葉で述べてほしい。面接では日本語でのコミュニケーション能力を重視している。教員側の問いかけを理解し、それに対して自分の考えをしっかりと述べることができるか、ということも審査のポイントである。



教員コメント

歪ませた背景やデジタル時計の処理のユニークさに加え、その独特な色彩も相まって、非常に卓越した絵画センスを感じさせる作品である。モチーフの位置関係などに多少の曖昧さは見られるものの、そういった部分も気にならないくらい、強く確立された個性がある。

デッサン(6時間)

【問題】

設置されたモチーフを描きなさい。

【条件】

1. 答案用紙は縦横自由。
2. 答案用紙の裏面中央に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙(木炭紙または画用紙から選択)×1枚
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚



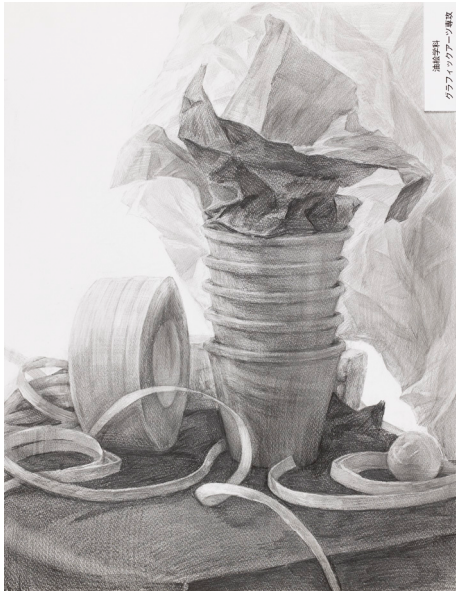
出題意図と評価のポイント

荷造り用の結束テープのロールと植木鉢を中心に、カラーボールやサイコロ状の荒削りな石、シワの入った純白ロール紙など、意図的にメリハリの少ないモチーフを配置した。ドラマティックでも何でもない普通のものをどう処理しながら、咀嚼して画面上に描いていくのか。個々のモチーフの描写だけでなく、それらを取り巻く空間が、どう描かれたのかも重要なポイントとなる。また、紙のシワの表現から読み取れる造形力など将来、開花するかもしれない潜在的な資質を測る狙いもあった。評価のポイントとしては、モチーフに真正面から向き合い、しっかりと描き

切っているのが最も大切になってくる。奇をてらった表現よりも、しっかりと実直に描写を突き詰めたデッサンを評価する。その上で自分に引き寄せながら絵画的イメージを構成し、独自の表現として展開していく清新な独創性も同時に重視する。

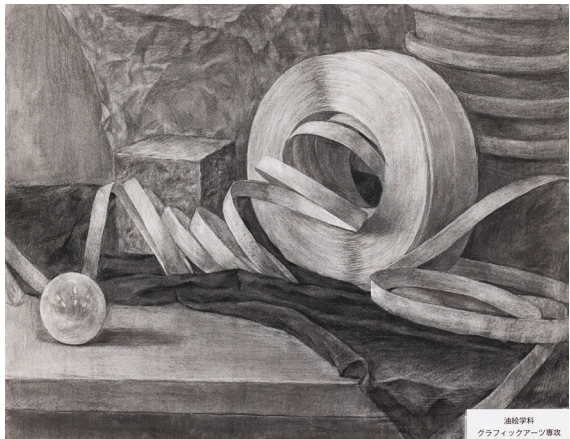
●面接

指導時に基本的なコミュニケーションが取れる日本語能力はもちろん、受験対策ではない、自分の言葉で自分の作品を真摯に語ることができるのかを問いたい。



教員コメント

鉛筆の諧調が美しい。モチーフだけでなく空間もしっかりと描かれ、逆光の植木鉢と周りのモチーフ群との関係性が的確に捉えられていて、見る者の視線を引き付ける。また、左上から右下にかけて白く抜けた背景の空間によって画面全体を引き締めようとする作者の狙いからも、繊細な造形感覚が読み取れる。過不足なく描写された優れたデッサンである。



教員コメント

画面全体を繊細に描写していこうとする作者の意図が伝わってくる。荷造り用テープの巻き癖を利用し、画面の中でリズムカルな動きを出した上で、空間そのものを描き切っている力量には高度なものがある。繊細な描写だけでなく、自身のイメージを重視しながらデッサンを絵画表現にまで高めようとする意気込みが伝わってくる。隅々まで行き届いた配慮に好感が持てる優れたデッサンである。

鉛筆デッサン(3時間)

【問題】

自画像を描きなさい。

【条件】

1. 答案用紙は縦横自由。
2. 答案用紙の裏面中央に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

【配付物】

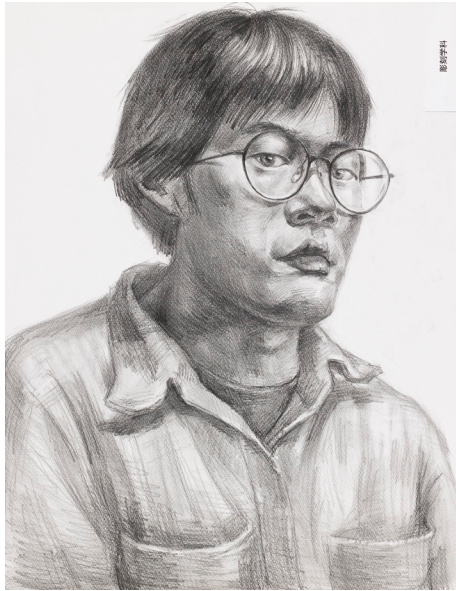
1. 試験問題
2. 答案用紙(木炭紙大画用紙)×1枚
3. 鏡×1枚

出題意図と評価のポイント

もっとも身近な存在である自分の頭部を、どの様に解釈するか。その解釈が客観的な観察に基づいて描写されているかを評価のポイントとした。

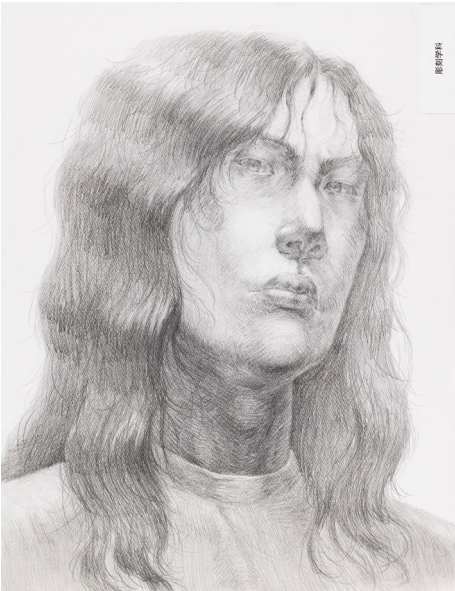
●面接

制作を続ける根気と好奇心、探究力がある人物を求めている。「授業に必要なコミュニケーションを取ることが可能か」「自分の作品がこれまでどのようにステップアップしてきたか」主にこの2点の伝達力を重視している。



教員コメント

描写の勢いと熱量が好感を呼び、作者の表現への意欲、意識の高さが伝わる気持ちのよいデッサンだ。黒の表現が色ではなく、鉛筆という素材の表現となっていることも特質として評価できる。顔の正面から顎の部分にかけてのがっかりとしたかたちの把握、首から肩につながるかたちへの配慮に比べると、頭部側面および胸部の観察と描写が弱く、このことが全体のかたちをやや平板にしているのが惜しい。この勢いを生かしつつ、観察の意識を全体の形態把握に向けるにより充実した内容になるだろう。



教員コメント

作者の世界観がストレートに伝わり、画面全体の空間感を大切にした魅力的なデッサンである。胸郭から脊椎を通した頭部までの流れとそれぞれの関係性が、画面全体でしっかりと立体として構築されている。光の方向を意識しながら、細部のかたちや表情も目的を持って描き込んでいる。その反面、肩、首、頭部の立体的な面としての意識が強過ぎるため、形体の柔らかさを捉え切れず、かたちのつながりや髪の毛の細部が単調に見える。全体感を観察しながら、細部への新たな発見があれば尚よい。

鉛筆デッサン(3時間)

【問題】

机上のモチーフをデッサンしなさい。

【条件】

1. 答案用紙は縦横自由。
2. モチーフは必ずしも全体を描かなくても良い。

【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙(B3画用紙)×1枚
3. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

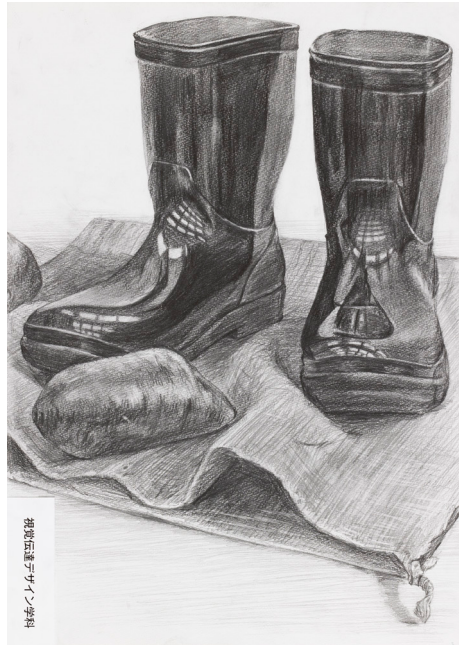


出題意図と評価のポイント

黒い長靴の描き込み、床に敷いた麻袋がつくる空間の広がり、周囲に配置されたさつまいもが台の上に置かれている様子、異なるモチーフの質感、全体のボリューム、形態と比率などデッサンの基本的な能力を測る出題とした。特に黒い長靴を粘り強く描き切る能力と、かたちが崩れないように観察しながら描く能力が試され、その辺りも評価のポイントとした。

●面接

日本語の能力が授業を進める上で十分であること、本学科の授業内容や教育理念を理解していること、教員や学生とのコミュニケーションに問題がなく意欲的に学習に取り組める人物であるかを評価の基準としている。



教員コメント

長靴の表情やかたかを的確に捉えており、ビニールの質感も細かく描写されている。麻袋の質感と描き込みがやや惜しいが、全体としては力強さが感じられる。画面を通じて存在感が伝わってくる作品である。



教員コメント

モチーフの置かれた位置関係をよく観察し、画面の中に丁寧に描いている。全体的にバランスが取れており、統一感がある。各モチーフの特徴をしっかりと捉え、空間の奥行きを感じさせる点も評価できる。

デザイン(3時間)

【問題】

「家族(Family)」は、血縁関係のある人々による集団であり、親戚や先祖にまで関係性が及びます。また、親交の深い人々で形成されたコミュニティも通称として「家族(Family)」と呼ぶ場合があり、さらには製品等で類似性の高いグループのことをファミリーと呼ぶなど、多様な意味として使われています。あなたが思う「家族(Family)」をテーマに、そのイメージをデザインとして表現しなさい。

画面右上の与えられた枠内に、どのような「家族(Family)」を表現しているかを20字以内で日本語で記入すること。

【条件】

1. 使用する色数は自由。
2. 描画画面は与えられた紙全体とする。
ただし、紙の余白は白色とみなすので、全面を塗りつぶさなくてもよい。
3. 答案用紙は横長で使用すること。
4. 右上枠内の文字書き込み部分は塗りつぶさないこと。

【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙(B3セント紙)×1枚
3. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

出題意図と評価のポイント

「デザイン」では、多様な背景を持った受験生が、「家族(Family)」という言葉から自身の経験を想起し、具体的なイメージへと変換することを求めた。課題文では「家族(Family)」に関していくつかの意味や視点があることを例示することで受験性に対して自由な解釈が可能であることを示している。この課題では自身

のアイデンティティを見つめ直し、色彩・形態・構成へと展開する力、テーマを独自に解釈し見る側に共感を与える力を求めている。これは入学後も共通して求められる力であり、その基礎となる発想力や造形力を総合的に評価した。



一緒に行動し、お互い支援する渡り鳥家族。

教員コメント

共に行動し、支援し合うという意味から渡り鳥を発想した視点が非常にユニークであるが、課題文を読んだことで自身の解釈へとつなげていったことが想像できる。素直な発想と独創的なアプローチが確かな構成力によって実現されており、説得力と高い共感性を持った魅力的な作品である。



暗い時期に、お互いに熱を伝える家族。

教員コメント

「暗い時期」という心理を画面周囲の色彩とテクスチャ、不穏さを感じさせる曲線によってうまく表現している。それとは対比的に「熱を伝える」ことを明るい色彩と求心的構成によって表現しており、家族との関係と心理的な状態を色彩、形態、構成によって表すことに成功した作品である。

鉛筆デッサン(3時間)

【問題】

モチーフをデッサンしなさい。

【条件】

答案用紙は縦横自由。

【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙(B3画用紙)×1枚
3. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

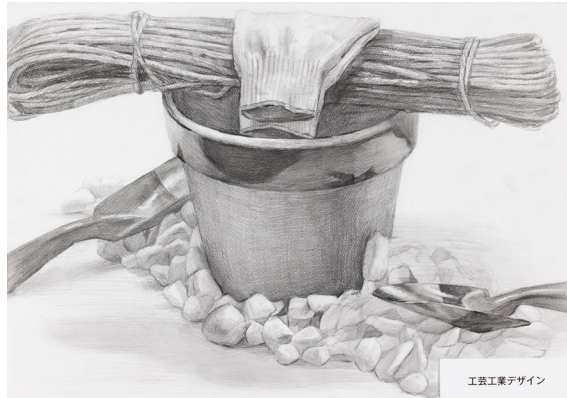


出題意図と評価のポイント

基本的なデッサン力を見ることが主であるが、特に本学科ではさまざまな形態・素材のプロダクトを扱うので、モチーフのプロポーションや質感をよりの確にとらえ、正しいパースで描く力を見るための出題となっている。

●評価ポイント

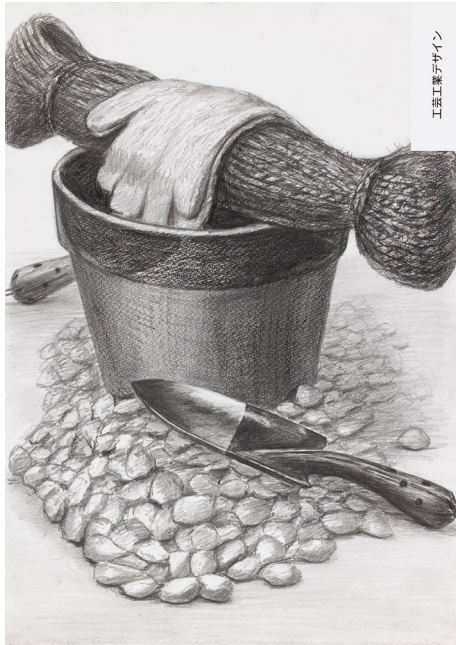
1. モチーフをよく観察し、正確に描写する力
2. 適切な構図を定める力
3. 空間を認識し、適切なパースで描く力
4. 異なる質感を丁寧に描き分ける力
5. 仕事量(制限時間内にどれだけの作業ができるか)



工業工業デザイン

教員コメント

かたちの取りづらい植木鉢やスコップのかたちをしっかりと捉えた上で、質感や固有色の違いをしっかりと描き分けようとする姿勢が感じられる。奥にある小石にもう少し手を入れて欲しいところだが、空気感や光を感じる画面の澄んだ美しさが目を引くデッサンである。



工業工業デザイン

教員コメント

大胆でのびやかな構図で、意欲的かつ純粋に描くことに向き合っている姿が想像できる、生き生きとした描写が魅力的。縄とスコップの質感をしっかりと描き分けながら、まとまりのある仕上がりとなっている。植木鉢のかたちの狂いが多少気になるが、力強く印象的なデッサンである。

デザイン(3時間)

【問題】

「空間の境界」という言葉について自由に考察、発想し、色彩を使用して表現しなさい。

【条件】

1. 用紙は横長で使用する。
2. 色数は自由。

【配付物】

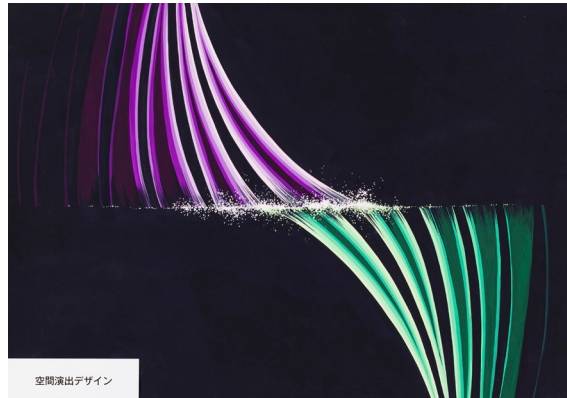
1. 試験問題
2. 答案用紙(B3ケント紙)×1枚
3. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

出題意図と評価のポイント

目で見ることのできない感覚やイメージを観る人にどのように伝えるか。見えないものを視覚に置き換え、それらを観た人がどのように感じるかを想像しながら描くことを求めた。テーマに対する着眼点、表現力、構成力、絵の具の扱いなど技術的な精度も評価している。

●面接

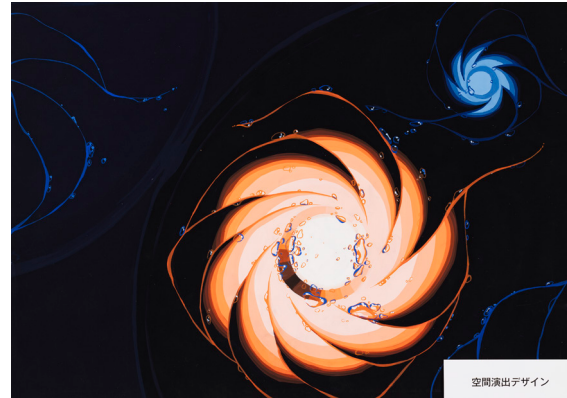
日常の中で刺激を自ら見つけ、考え、発信していく力があるか。他者を理解し、どう自分の考えを伝えられるか。自分と社会との在り方を模索していこうとする人物を期待する。セルフプロデュースできる力があり、魅力ある人物かどうかも見えていく。日本語でこれらをコミュニケーションできる力も大切である。



空間演出デザイン

教員コメント

画面を二分する大胆な構成だが、粗密のバランスがよく、色彩のコントラストも鮮やかで、見どころが明確な表現である。丁寧な塗りの作業からも、高い表現力があると見受けられる。



空間演出デザイン

教員コメント

自由曲線とグラデーションの組み合わせが画面にリズムを生み出している。描写力の高さからは、技術的な素地を感じることができるが、ややコンセプトを想起しにくい構成である。

鉛筆デッサン(3時間)

【問題】

配付されたアルミの型材(22mm×12mm t=2mm L=100mm)と、想定モチーフを、自由に配置構成してデッサンしなさい。

【想定モチーフの要件】

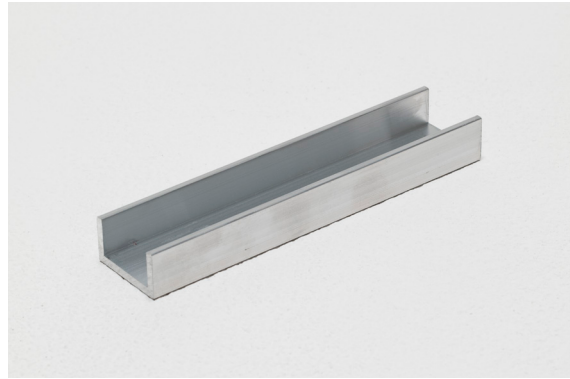
- ① 配付モチーフの断面のそれぞれの長さを2倍にした型材
 - ② 配付モチーフの長さを2倍にした型材
 - ③ 配付モチーフの断面と長さを変えた型材
- (上記①②③については、材料の厚みtは変化しないものとする。)

【条件】

1. 配付モチーフ及び想定モチーフ①から③は、各1ずつ描くこと。
合計4つモチーフを描くこととなる。
2. モチーフ同士は離れても、接しても、貫入してもよい。
3. 答案用紙(B3画用紙)は縦横自由。
4. 目隠しカードの上に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

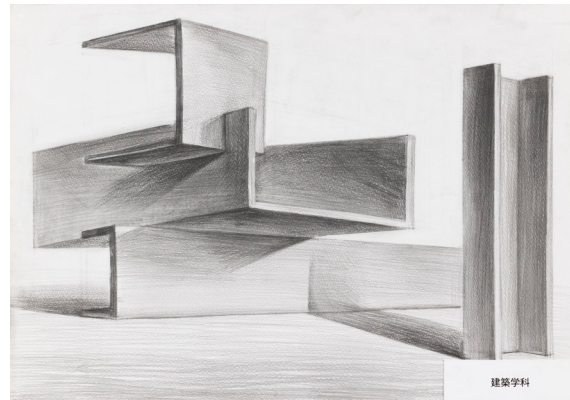
【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙(B3画用紙)×1枚
3. アルミの型材×1枚
4. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚



出題意図と評価のポイント

配付したモチーフに加え、想定モチーフの諸々の条件を正しく理解した上で空間構成しているかをチェックポイントとした。この条件は日本語能力を測る側面も含む。配付モチーフが比較的単純で描きやすい形状のため、空間構成における感性と描写・表現力が重要な評価ポイントになっている。

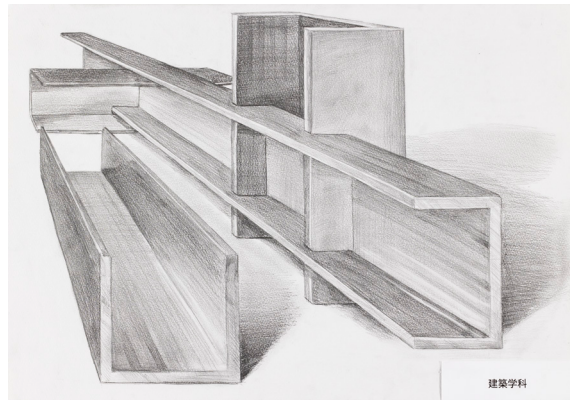


教員コメント

出題の条件を読み取り正確に表現されており、立体的配置に工夫が見られ、陰影なども丁寧に描かれている。

●面接

日本語により自身の考えを伝え、教員の質問や説明を理解することが重要であるので、日本語能力を評価の重要なポイントにおいている。その上で、建築・環境への関心、発見力、想像力、思考力などを評価している。



教員コメント

出題の条件を読み取り正確に表現されており、奥行きや貫入の様子が見て取れ、質感のある表現となっている。

基礎造形(3時間)

【問題】

東京の夜の風景を幾何学図形を用いて描きなさい。

【条件】

1. 答案用紙は横長で使用する。
2. 答案用紙の裏面中央に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙(B3ケント紙)×1枚
3. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

出題意図と評価のポイント

受験生がさまざまな出身地、文化的背景を持って来日したことを考慮して「東京」を出題した。東京の特徴的な場所や街なみ、気候など自然、人間とその動きなどについて自由な発想による表現を期待した。かたちや色による基礎的な造形力を見るために、かたちを単純に、洗練させることを求めているが、具象的にもあるいは抽象的にも表現することが可能である。テーマのとらえ方や展開といった発想力と基礎的な造形力を評価した。

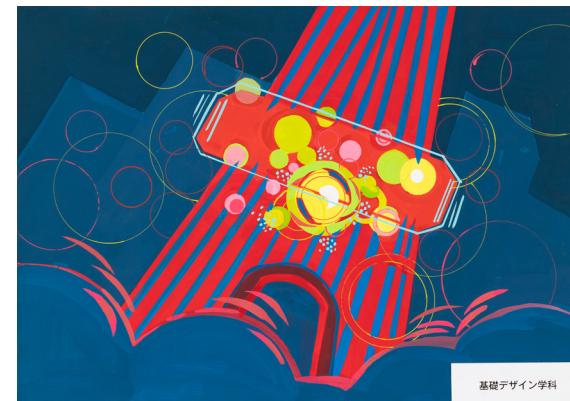
●面接

課題である「東京」についての考えと造形について質問し、制作物だけでなく、制作の過程について話してもらった。また各自の現在の関心、美術、デザインを志望した動機、これまでの活動について面談し、造形能力だけでなく、質問に対して理解し、考え、発信するコミュニケーション能力を評価した。あわせて本学における学習のために必要な日本語能力について評価した。



教員コメント

通り過ぎていく車窓の夜景が描かれている。車窓の中の動きのある光と静止した吊り革と窓枠の対比は、一部が重なるようにうまく構成されている。



教員コメント

ライトアップされた東京タワーであろうか？日本に来る前にインターネットで見た東京タワーと実際に見た東京タワーが、その背景や周辺の様子から際立つ光の「印象」として表現されている。この光の傾きについても、自動車の窓から見た、上空から見た……と想像を広げることができる。

小論文(2時間)

【問題】

別紙の文章は、養老孟司著『「自分」の壁』からの抜粋である。まず著者の主張に対するあなたの意見を述べた後に、「考える」ことについて、あなた自身の具体的な体験を交えながら800字以内で述べなさい。

【条件】

1. 解答用紙の1行目に、適当なタイトルを記述しなさい。
2. 文字数は、タイトルを含め、800字以内とする。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 別紙×1枚
出典：養老孟司著『「自分」の壁』、新潮社、2014年、180-183頁。
3. 原稿用紙×1セット
4. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

別紙

現代は「情報過多」と言われます。情報過多というのは、別の言い方をすれば、身につかない情報ばかりが増えていくことです。知っていても、役に立たない。手に入る情報が増えていけば、そのぶん賢くなるという単純な話ではありません。ネットを使えば、たいていことがすぐわかる。そう思っている人もいるでしょう。でも、その「すぐにわかる」一点こそが、ネットの問題点です。なにか知りたいことが出てくる。それを入力して「検索」とクリックすれば、かなりの確率で「答え」が出る。何が問題か。それは数学を教わるのと同じようなものだからです。基本的に数学は教わってはいけない学問です。歴史などは、すでに事実とされている知識をおぼえていかないと、話が進みません。ふつうの人が、自ら史実をいちいち掘り起こす必要はない。数学の場合は事情が異なります。問題の解き方や答えを丁寧に教わると、かえって力がつきません。応用問題ができなくなるからです。もちろん、いくら何でもイコールの意味とか、基本的なことは人に教わらざるをえないという面はあります。実際の教育現場では、公式を教えることも仕方がないでしょう。すべての生徒に、二次方程式の公式を発見させるのは骨が折れます。しかし、公式を丸暗記することには意味がありません。生徒の側は、公式を教わったうえで、なぜそれが成り立つのかを、最初から自分でもう一回やってみなくてはいいけません。その手間が必要なのです。現実のテストでは、公式を丸暗記しておくだけで、正解を出せる問題もあるでしょう。だから、それでテストの点数はある程度取れるかもしれませんが。しかし、それでは考える力が身についたことにはなりません。公式の丸暗記というのは、単なる知識を増やしているにすぎないのです。数学の場合は、公式を導き出すまでの論理が大切で、その論理をつくるのが、考える、ということです。もしも公式を導くのがむずかしいとすれば、それは時間をかけないからです。数学ができる人、人の典型的な思考パターンは、「2aマイナスイナaは？」と聞かれて「2です」というやつです。念のために言っておきますが、正解は「a」です。では前者が絶対に間違いかといえば、そんなことはありません。2aからaを取れば2になる、というのは、数学とは別のルールのうえでは正しいとされることもあるのです。しかし、数学のルールでは違う、というだけです。これがわからない子どもには、「2aとは、aが2つあることを簡略化して書いているんだよ」というところから丁寧に説明しなければいけない。それは少々面倒かもしれませんが、そうむずかしい話ではない。ところが、丁寧に説明することを怠るから、ついていけない子どもが出てくる。そこでつづかえた子どもは、「算数って無茶苦茶だよ」と抵抗する。その抵抗は自然な反応ですから、それを取り越えられるようにすればいいだけの話です。そういう過程を経ないで、ただ「2aマイナスイコールaだ。つべこべ言わずにおぼえろ」と頭に叩き込まれたところで、数学ができるようになるわけではないということは、おわかりでしょう。ネットで検索すれば、「答えのようなもの」はたくさん出てきます。そうした情報があふれています。しかし、さほど意味のない知識も多いのです。

出題意図と評価のポイント

- 文中の筆者の考えを解釈し、自分の体験から適切なテーマを設定して具体的に論じられるかを見た。
- 以下の評価のポイントを総合的に評価した。
- ・別紙の文章に対する自分の意見が述べられているか。
 - ・問題の主旨を理解し、適切なテーマが設定されているか。
 - ・自分の具体的な経験について、客観的な視点を持っているか。
 - ・自分の具体的な経験と、出題文の内容を照らしながら論じているか。
 - ・適切なタイトルが付けられているか。
 - ・文字数が適切であるか。

●面接

- 以下の評価のポイントを総合的に評価した。
- ・志望に至った経緯と動機を的確に話すことができるか。
 - ・本学科の教育理念や授業内容をよく調べているか。
 - ・入学後の学習や将来の目的意識が明確であるか。
 - ・これまでの経験で得たアートやデザインに対する考えを話すことができるか。
 - ・日本語でコミュニケーションを十分取ることができるか。

情報表現テスト(2時間)

【問題】

日本生活習慣病協会では、日常心がけたい生活習慣をわかりやすく表現した健康標語で「一無、二少、三多」を提唱し、普及啓発に努めている。この「一無、二少、三多で生活習慣病を予防」を読んで、以下の問題に答えなさい。

- 一無 「無煙・禁煙のすすめ」
たばこは万病のもと～喫煙は単独で最大の予防可能な死因！
- 二少 「少食・少酒のすすめ」
少食 食事は腹八分目に！
少酒 アルコールは少量をたしなみ、ほどほどに！
- 三多 「多動・多休・多接のすすめ」
多動 今より10分多くからだを動かそう！
多休 しっかり休養～ところからだのリフレッシュ！
多接 多くの人、事、物に接してイキイキした生活を！

出典元：日本生活習慣病協会WEBサイト

<https://seikatsusyukanbyo.com/main/yobou/02.php>
(2023年10月11日参照)

出題意図と評価のポイント

「情報表現テスト」は日本語の問題文を正しく理解し、何を問うているかについての確に理解し解答できているかが、何よりも重要なポイントである。2024年度の問題は日常で心がけたい生活習慣に関する標語を理解し、わかりやすく図説することができるかについて問う問題である。解答から受験生のほとんどは正しく日本語を理解しているようだったが、図説としてわかりやすく表現できている点で評価の優劣の差が出た。また、標語の「一無・二少・三多」を図説全体の構図としてどう構成したかが評価のポイントになった。

問題1.

この「一無、二少、三多」の項目がわかりやすく伝わるような図を作成しなさい。説明する文字を入れてよい。

問題2.

生活習慣病は長い時間をかけて進み、病気として自覚しにくいという問題があります。若い頃から、適正な生活習慣を獲得し、維持することが大切ですが、日頃、自分自身の健康について考えていることを日本語400字以内で述べなさい。

【条件】

問題1については、答案用紙の指定の枠内でわかりやすくレイアウトすること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙×1枚
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

●面接

本学科に関心を持ち受験した明確な理由と、入学後の学習方針や目指す領域について、事前に提出された志願確認書に基づき、質疑応答を行った。また、志願理由以外の話題についても、質問を正しく理解し、自分の考えや意見を述べることができるか審査している。特に自然な日常会話や大学の授業やグループワークなどで使う言葉の聞き取りの力も重要なポイントとしている。なお、限られた時間内では十分に審査することが難しいため、ポートフォリオや作品は評価対象とはしていない。

教員コメント

問題1の図説では、標語の「一無・二少・三多」をタイトルとしてポスターやチラシのような構成になっている。色鉛筆での表現がうまく、色数を抑えつつ、同じオレンジ色でも陰影を付け、豊かな表現になっている。問題2の文章は問いを正しく理解し、分析的な記述になっている点がよい。

教員コメント

問題1の図説では、標語の「一無・二少・三多」をすべて達成できた場合、目標に到達できたとして、山のかたちの三段階で構成している。すべて達成できたとき、ゴールの旗が立っている点がユニークである。問題2の日本語も正しくわかりやすい文章で日本語能力が高いことがわかる。



現代の社会では、適正な生活習慣を獲得し、維持することがとても大切だ。私も自分自身の健康についての生活習慣を考えた。まず、早起したら水をすぐ飲むことだ。毎日忙しくて、水を飲むのを忘れる可能性がある。人類の身体は70%は水であり、そのため、水を飲むのはとても大切なことだ。また、スーパやコンビニでは水以外に多くのドリンクがうっている。しかし、全てのドリンクが健康によいのではない。そのため、早起き後水を飲み、からだがすぐ運動できるという習慣はとても大切だ。次に、エレベーターをつかわず階段をのぼる。毎日運動することはむずかしい。そのため、生活の中の運動量をふやし、エレベーターにのらず階段をのぼる。または、車を自転車に代えるなどとてもよいのである。以上のことから、私は早起したら水を飲むこととエレベーターを使わず階段をのぼることが自分自身の健康について考えていることだ。



近年、子供の頃からよくない生活が続き、生活習慣病を持っている学生が増えつつある。そこで、私は今健康な生活をしているのかについて考えた。まず、日本生活習慣病協会で提唱した健康標語を見ると、私はもう少し健康に気を使う必要がある。酒やたばこはしたことがないが、他の項目をきちんと守っていないからだ。少食はつねにしているが、勉強する時、知らない間にデザートを食べすぎてしまうことがよくあった。また、私は体力がよくなって学校で移動授業がある時はきついと感ずることもあった。しかし、いつもきまつた時間になて起きることですっかりリフレッシュもしていて、学校では皆と仲良く過ぐすなど、生活習慣は良い方だと思える。このように、私は健康に過ごしているが、少しのよくない習慣を治す必要がある。今後、より健康に大学に通うため、これをきっかけにさらに健康な人になりたいと考える。

小論文(1時間30分)

【問題】

オンライン授業やオンライン会議によって、障害の有無、言語、居住場所など、従来であれば対話が困難であった人々の学びや就労上の様々なニーズに対応が可能になりつつある。他方で、クリエイティブ分野の学びや業務において、一箇所に集まり対面する必要性も指摘されることがある。「対面での対話の価値」について、あなたのこれまでの経験を記述したうえで、クリエイティブ分野における「対面での対話の価値」のこれからの可能性について、詳しく述べよ。(800字以内)

【条件】

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。
3. 受験番号は上詰めで記入すること。

出題意図と評価のポイント

身近な課題設定のもとに、幅広い社会的視点から俯瞰する基礎的能力と、そこに自分なりのクリティカルな視点を持ち込むことによって得られる独自のテーマ性や、潜在している課題発見力を重視するとともに、設問に応じた日本語能力(読解力や論理展開力等)を評価ポイントとする。

●面接

美大における本学科特有の主旨・特色やカリキュラム構成を正しく理解し、グローバルな視点での未来や社会に対する新たなデザイン課題に対して積極的であり、グループワーク等では協調性を発揮できること。さらに、自身の将来的な夢や本学で学びたい授業分野、目指したい進路等について明確な目的意識や自分なりの考えを提示できることが望ましい。

【配付物】

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

映像学科

Imaging Arts and Sciences

感覚テスト(3時間)

【問題】

下記を含む漢字二文字の熟語を選び、その言葉から想起する場所のイメージ、あるいは出来事のイメージを解答欄に絵と文章で表現しなさい。

「配」

【条件】

1. 選んだ熟語を答案用紙の裏面に記載すること。
2. 絵と文章を必ず用いること。ただし絵と文書のレイアウトおよび割合は任意とする。
3. 解答欄の文字は1マス1字とする。
4. 答案用紙は横長で使用すること。

出題意図と評価のポイント

言葉に関する感性および、場所や出来事のイメージを創り出す力と、それを文章と絵で表現する力から、映像的な資質や感性を読み取りたいという出題意図である。評価ポイントとしては、問題から導き出した言葉を解答のイメージ表現の主たる手がかりとしているか、イメージを絵と文章で表現するにあたって、絵と文章の役割を的確に分担させているか、絵と文章のレイアウトが調和的に構成されているか、等である。

●面接

映像の分野は、文章力やデッサン力、コミュニケーション能力、数学的能力等、さまざまな資質のどこからでもアプローチが可能なのが特徴である。したがって、現在の自分が得意なことを、「感覚テスト」の解答の説明を通して、あるいは本学科で学びたいことや方向性を答える形で、明らかにすることが求められる。当然なこととして、日本語の聞き取りと会話の能力も重視する。



映像学科

教員コメント

真夏のコインランドリーで過ごす30分程の時間の推移が、匂い、音、思念と共に個人の体感として伝わる描写力に優れた作品。文章の詳細や構成も巧みだが、独特の画角と主観的視点が意識

を集中させ、変容し動き続ける洗濯物、ドラムのガラス扉に映り込む自身の姿、それを見つめる生身の自分という入子構造が、「心配」という心情の描写にも有効に機能している。

小論文(1時間30分)

【問題】

「AIが制作した作品にオリジナリティはない」という意見に対して、あなたは賛成ですか、反対ですか。その理由とともにあなたの考えを述べなさい。

なお、解答は700字以上800字以内で書きなさい。また、「です・ます」調ではなく、「である」調で書くこと。

【条件】

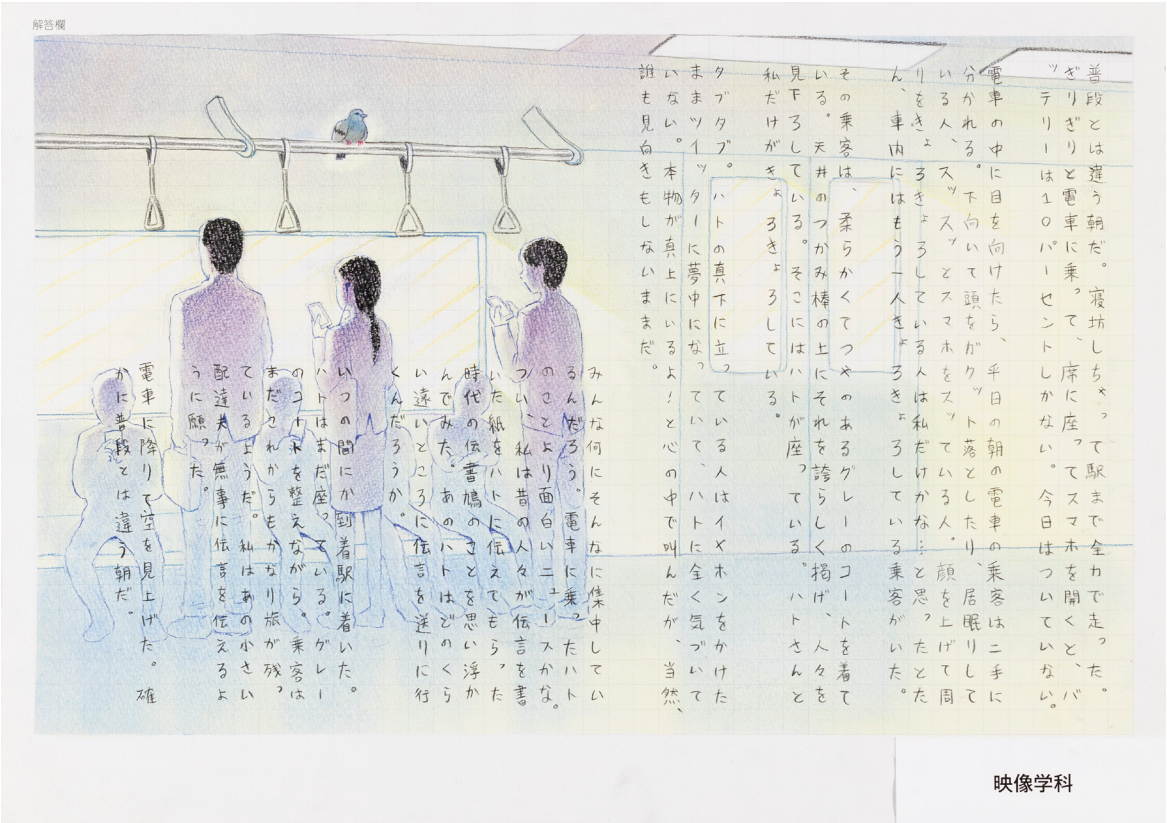
1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

出題意図と評価のポイント

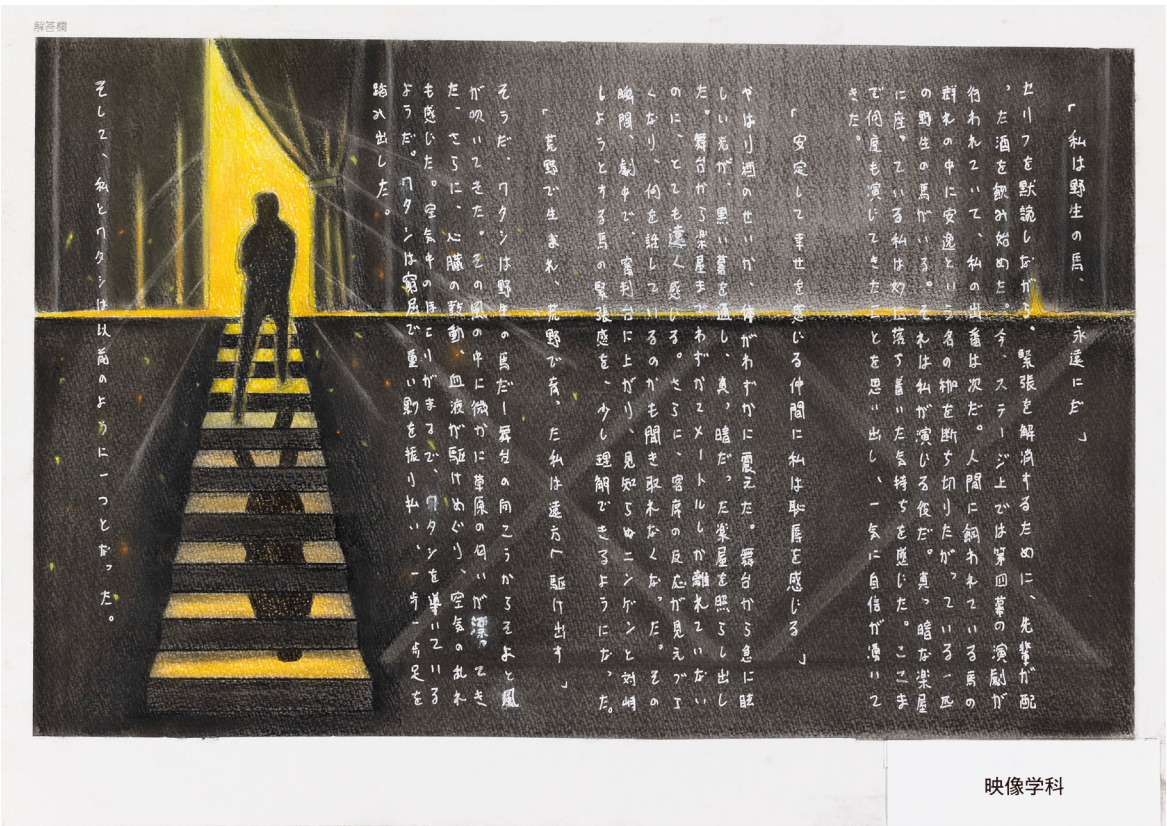
帰国生特別選抜の小論文問題では、ある意見に対して賛成か反対かの立場を論述する問題を課している。これは、根拠に基づき論理的に自己の主張を記述できるという論理的記述力を測るためである。したがって、論理的な記述がなされているかを第一に評価する。また、文法、文体等の言語的な要素も小論文として適切なものであるかも評価している。



教員コメント

寝坊して駆け込んだ朝の電車内。スマホのバッテリー切れが、馴染みの車内の違和に気付かせる。窓からの柔らかな光が満ち、無関心な乗客たちをよそに吊り革のボールにとまった鳩の存在

がユーモラスに際立つ移動空間。伝書鳩の想起から、擬人化された「配達」夫のこの先の旅を思う作者が、下車と同時に我に返る様子がささやかで微笑ましい。



教員コメント

暗闇の楽屋と舞台から漏れる光が浮き彫りにする、シルエットや暗部のディテールが効果的で、本番に向かう役者が体感する緊迫した濃密な時空間を捉えた構図が秀逸。芝居のセリフと主観

的文章が内なる声として暗部に「配合」され、役者自身と野生の馬という役柄が一体となる瞬間までの刻々と過ぎる時間や意識の高まりが文学的に表現されている。

※造形学部全学科、作品・ポートフォリオ（両方、またはどちらか）の提出、面接の試験あり。

※油絵学科油絵専攻、油絵学科版画専攻（3年次）、グラフィックアート専攻（2年次）、工芸工業デザイン学科は実技試験なし。

日本画学科

鉛筆デッサン（3時間）

【問題】

最近、あなたが気になった出来事から自由にイメージして鉛筆デッサンしなさい。

【条件】

1. 答案用紙は縦横自由。
2. 答案用紙の裏面中央に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙（A2画用紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

彫刻学科

鉛筆デッサン（3時間）

【問題】

自画像を描きなさい。

【条件】

1. 答案用紙は縦横自由。
2. 答案用紙の裏面中央に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙（木炭紙大画用紙）×1枚
3. 鏡×1枚

視覚伝達デザイン学科

デザイン（3時間）

【問題】

「編む」という言葉は、自然の中にある素材を活用する行為を指し、人間の暮らしの中で生まれ、現代までに様々な役割や意味が付加されてきました。例えば、身体を覆うもの、ものを採集して運んだり加工したりする道具、屋根や壁の建材など、生活に欠かせないものを作る際の行為として、あるいは、人々の知恵を文字の代わりに記録し伝える行為、編集や編曲など出来事のある視点で整理して伝えることの比喩としても使われてきました。

配付されたモチーフ（ひも、紙バンド）を操作してかたちをつくり、観察したことや考察したことをもとにして、あなたが考える「編む」という行為や概念、AとBの二つを、それぞれスケッチと文章をつけて記述しなさい。

【条件】

1. AとBについて、配付されたモチーフ（ひも、紙バンド）を用いて実際にかたちをつくり、何を「編む」のか、どのように「編む」のかなどがわかるように視覚化し、それらをスケッチしなさい。
2. AとBを合わせたタイトルを20字以内で書きなさい。文章の文字数は自由。
3. モチーフは自由に組み合わせてよい。はさみやカッター、配付したマスキングテープを使ってもよい。
4. AとBのスケッチ、文章、タイトルは、答案用紙に自由に構成すること。
5. 答案用紙は横長で使用する。
6. タイトル、スケッチ、文章の記述は、鉛筆を使用すること。色鉛筆は使用不可。
7. 包装材はモチーフではない。
8. 配付物は持ち帰らないこと。

【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙（A2画用紙）×1枚
3. ひも3m×1束
4. 紙バンド5m×1巻
5. マスキングテープ×1巻
6. 下書き用紙（B4上質紙）×3枚



空間演出デザイン学科

デザイン（3時間）

【問題】

あなたが今、感じている社会的あるいは個人的な問題を想像し、立体構成しなさい。

【条件】

1. 配付された用紙を自由に加工して立体を作り、台紙（B3スチレンボード5mm厚）上に立体構成すること。
2. 記入用紙にタイトル並びに作品説明を150文字以内で記入しなさい。
3. 配付された材料は任意に使用すること。（全て使用しなくてもよい）
4. 配付された両面テープは接着材としてのみ使用すること。
5. 台紙は横長で使用する。
6. 着彩は任意とする。
7. 下書き用紙と包装材は作品に使用しないこと。

【配付物】

1. 試験問題
2. 記入用紙
3. B3ケント紙×3枚
4. B3ボール紙×3枚
5. B3スチレンボード（5mm厚）白（台紙用）×1枚
6. 両面テープ×1個
7. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

建築学科

デザインテスト(3時間)

【問題】

与えられた敷地図(別紙)に、下記の条件で、住宅を設計しなさい。

【条件】

- 敷地条件
 - 敷地面積：81㎡
 - 接道：南側4m
 - 高低差：敷地、道路、隣地は、高低差のない平坦地
 - 用途地域：第1種住居地域(建蔽率60%・容積率150%)
 - 周辺状況：古い2階建と新しい3階建が混在している地域
- 設計条件
 - 延床面積：100㎡以上
 - 家族：夫婦＋子供2人(中学生と小学生)の計4人
 - 駐車場：1台、駐輪場：数台
 - 構造：構造は自由
- 答案用紙は縦横自由

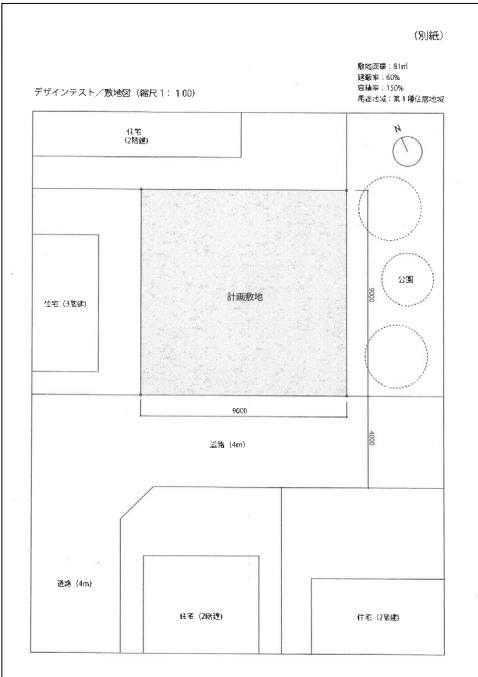
【要求図書】

下記の内容を答案用紙に記載すること。

- 設計意図を示すタイトルを付けること。
- 配置図兼1階平面図・各階平面図(縮尺：1/100)
- 断面図：1面以上(縮尺：1/50)
- 外観スケッチ：1カット以上
- 内観スケッチ：1カット以上
- 計画概要(建築面積、延床面積、構造種別)を答案用紙に記載すること。

【配布物】

- 試験問題
- 別紙(敷地図)×1枚
- 答案用紙(A2ケント紙)×1枚
- 下書き用紙(A3トレーシングペーパー)×3枚



基礎デザイン学科

小論文(1時間30分)

【問題】

あなたが最近の日常生活の中で気づいたこと、発見したこと、分かったこと、について例をあげて述べなさい。

その契機、たとえば特別な体験によって、本を読んで、話を聞いて、…について、また、その後、あなたの考え方や感じ方、行動の変化についても論じなさい。

論述にあった題名をつけなさい。

【条件】

- 解答用紙の1行目に、適当なタイトルを記述しなさい。
- 文字数は、タイトルを含め、600字以内とする。

【配布物】

- 試験問題
- 原稿用紙×1枚
- 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

芸術文化学科

小論文(1時間30分)

【問題】

別紙の文章は、辛 美沙著『アート・インダストリー 究極のコモディティーを求めて』からの抜粋である。まず著者の主張に対するあなたの意見を述べた後に、アートの役割と機能について、あなた自身の考えを具体的な体験を交えながら1,000字以内で述べなさい。

※別紙は非掲載とします。

【条件】

- 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
- 原稿用紙の1行目に、適当なタイトルを記述すること。
- 氏名欄は全頁記入すること。

【配布物】

- 試験問題
- 別紙×1枚
出典：辛 美沙著『アート・インダストリー 究極のコモディティーを求めて』、美学出版、2008年、229-231頁。
- 原稿用紙×1セット
- 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

デザイン情報学科

小論文(1時間30分)

【問題】

あなたがこれまでに接してきたデザインされた製品のうち、自分では良くないデザインだと思ったにもかかわらず、世に広く使われ、多くの人に支持されたものをひとつ取り上げ、そのことを分析しなさい。

【条件】

- 原稿用紙は縦書きで使用するこ
- 原稿用紙の1行目に15字以内のタイトルを記入し、2行目から解答文を記入すること。
- 文字数は、タイトルを含め、800字以内とする。
- 氏名欄は全頁記入すること。

【配布物】

- 試験問題
- 原稿用紙×1セット
- 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

クリエイティブイノベーション学科

選考方法

活動報告書の提出、面接の試験

映像学科

選考方法

作品の提出(動画作品または写真作品)、面接の試験

美術専攻
美学美術史コース

小論文(2時間)

【問題】

美術作品と、それが置かれる「場」とは、どんな関係を持っているだろうか。また、美術作品を研究する上で、「場」との関係をどう扱うべきか。あなたが関心を持つ作品を例に挙げ、具体的に論じなさい。

(1,200字以内)

【条件】

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

外国語(英語)(1時間)

【問題】

以下の英文を日本語に訳しなさい。

※英文は非掲載とします。

【配付物】

1. 試験問題
2. 解答用紙×1枚
出典：Creation: Modern Art and Nature, exhibition catalogue, Scottish National Gallery of Modern Art, Edinburgh, 1984, p.24.

専門基礎(筆記試験)(1時間)

【問題】

次の事項の中から任意に5つを選び、各事項の説明を解答用紙に簡潔に記述しなさい。

1. アール・ヌーヴォー／2. アルフォンス・ミュシャ／3. ウジェーヌ・ドラクロワ／4. 運慶／5. エトルリア美術／6. 尾形乾山／7. カフラー王座像／8. 狩野芳崖／9. 岸田劉生「麗子像」(連作)／10. 九相図／11. 具体美術協会／12. ジョーゼフ・アルパース／13. ジョルジュ・ヴァザーリ／14. 速水御舟／15. 原弘／16. 平等院鳳凰堂／17. 藤井達吉／18. フォーヴィスム(野獣派)／19. フロッタージュ／20. ロマン主義

【配布物】

1. 試験問題
2. 解答用紙×1セット

美術専攻
芸術文化政策コース

小論文(2時間)

【問題】

別紙の文章は、福岡伸一による小論「美は、動的な平衡に宿る——まえがきにかえて」からの抜粋である。この著者の主張を要約した上で、その内容を踏まえて、「動的な世界」について、あなた自身の考えを1,200字以内で述べなさい。

※別紙は非掲載とします。

【条件】

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 別紙×1枚
出典：福岡伸一『新版 動的平衡2 生命は自由になれるのか』、小学館、2018年3～6頁
3. 原稿用紙×1セット
4. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

外国語(英語)(1時間)

【問題】

以下の英文を日本語に訳しなさい。

※英文は非掲載とします。

【配付物】

1. 試験問題
出典：Tony Fry, Defuturing: A New Design Philosophy, Bloomsbury, 2020, pp.4-5.
2. 解答用紙×1枚
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

デザイン専攻
視覚伝達デザインコース

小論文(2時間)

【問題】

あなたにとって「モダン」とは、「クラシック」とは何か？

「モダン」「クラシック」という言葉が、芸術文化を含む日常的な暮らしの中で広く使われています。このふたつの言葉が関係し合うことで、デザインにとって、どのようなことが生じるといいますか？どのような問題点や課題が生まれるのか、どのような将来のビジョンが描けるのか、一般論とあなた自身の考えの両方を記述しなさい。

(1,200字以内)

【条件】

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 原稿用紙の1行目にはタイトルを記入し、2行目から解答文を記入すること。
タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

【配布物】

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

デザイン専攻
建築コース

即日設計(3時間)

【問題】

別紙の敷地に、下記の条件で住宅＋カフェ＋ギャラリーを設計しなさい。

※別紙は非掲載とします。

【条件】

- 敷地条件
 - 敷地形状：敷地は南から北へ向かって2m下がる傾斜地である
 - 敷地面積：98m²
 - 接道：南12m、西4.5m、北4.5m
 - 用途地域：近隣商業地域(建蔽率80％・容積率300％)
 - 周辺状況：駅に近い商店街に位置する建物が密集した地域
- 設計条件
 - 敷地条件(傾斜地)や周辺環境を生かした計画であること
 - 敷地レベルを大きく変更する土地の造成は不可
 - 延床面積：200～250m²
 - 計画内容(各用途は下記の条件を満たすこと)
 - 住宅(100m²以上)：家族(夫婦)
 - カフェ(50m²以上)：客席20席以上
 - ギャラリー(50m²以上)：展示壁面は15m以上
 - 住宅設計意図を示すタイトルを付けること
- 設計意図を説明する下記の内容を表現すること
 - 各階平面図(縮尺：1／100)[GLレベルの平面図に敷地境界線を表記すること]
 - 断面図(縮尺：1／100)[計画の特徴を表現する断面図を1面以上]
 - 外観スケッチ[敷地との関係が分かるアングルで表現すること]
 - 内観スケッチ[主要な内部空間を表現すること]
 - 説明文(200文字程度)
- 計画概要(建築面積、延床面積、構造種別)を答案用紙に記載すること
- 答案用紙は縦横自由

【配付物】

- 試験問題
- 敷地平面図(別図)
- 答案用紙(A2セント紙)×1枚
- 下書き用紙(A3トレーシングペーパー)×3枚

小論文(2時間)

【問題】

(1) 次の写真(1枚を選ぶ、または複数を選ぶ)から読み取れる建築、都市、美術に関することを原稿用紙「小論文1」に200字以内で書きなさい。

(2)(1)で回答した内容を踏まえて、あなたの考える課題、または可能性について、原稿用紙「小論文2」に1000字以内で自由に答えなさい。
※写真は非掲載とします。

【条件】

原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用するこ

【配付物】

- 試験問題
 - 出典：
(1)日経クロステックHP
2022年7月の公表時における大屋根の完成予想図
(資料：2025年日本国際博覧会協会)
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/02484/081700018/>
(2023年9月7日参照)
 - (2)万博記念公園HP
<https://www.expo70-park.jp/cause/expo/>
(2023年9月7日参照)
- 原稿用紙×3枚1セット
 - ※「小論文1」×1枚、「小論文2」×2枚をステーブラー留め
- 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

デザイン専攻
デザイン情報学コース

小論文(2時間)

【問題】

2021年、内閣総理大臣を議長とするデジタル田園都市国家構想実現会議が開催され、地方創生を推進するための施策として「デジタル田園都市国家構想」が発表された。

デジタル田園都市国家構想のコンセプトには、以下の内容が掲げられている。

本構想は、「新しい資本主義」実現に向けた、成長戦略の最も重要な柱であり、地方の豊かさをそのままに、利便性と魅力を備えた新たな地方像を提示するものである。

産官学の連携の下、仕事・交通・教育・医療をはじめとする地方が抱える課題をデジタル実装を通じて解決し、誰一人取り残されず全ての人がデジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らしを実現する。地域の個性を活かした地方活性化をはかり、地方から国全体へのボトムアップの成長を実現し、持続可能な経済社会を目指す。

これまでの地方創生施策は継続しつつ、これをデジタルの力によって高度化・加速化させることにより、本構想の下で「ミニ東京」ではない個性あふれる地域を実現していくための基礎をつくっていく。

また、デジタルの力を有効に活用するためには、共通ID基盤やデータ連携基盤、ガバメントクラウドの活用などのデジタル基盤について、各地方がバラバラに取り込むのではなく、国が積極的に共通基盤の整備を行い、地方に提供することが不可欠である。地方は、これらの効果的活用を前提に、地方の個性やニーズを積極的に生かしたデジタル実装を進め、実情に即した多様なサービスを展開することが期待される。

外国語(英語)(1時間)

【問題】

以下の英文を日本語に訳しなさい。

＊解答用紙のみ提出しなさい。

※英文は非掲載とします。

【配付物】

- 試験問題
 - 出典：Lev Manovich, The Language of New Media, The MIT Press, 2002, p.94.
- 解答用紙×1枚

また、施策の全体像として、以下の4つの視点を軸に取り組むことが示されている。

- ① デジタル基盤の整備
- ② デジタル人材の育成・確保
- ③ 地方の課題を解決するためのデジタル実装
- ④ 誰一人取り残されないための取組

以上の施策について、デジタル技術とデザインの観点からどのような取り組みが可能であるのか、地方(日本国内には限定しない)が抱える課題について具体例を挙げ、論述しなさい。

(1,200字以内)

出典：デジタル田園都市国家構想実現会議(第2回)若宮大臣提出資料「デジタル田園都市国家構想関連施策の全体像」令和3年12月28日

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_denen/dai2/siryou1-2.pdf (2023年9月7日参照)

【条件】

- 原稿用紙は指定字数に従って横書きで使用するこ
- タイトルは原稿用紙の1～2行目に30字以内で記入し、3行目から解答文を記入すること。タイトルは指定字数に含む。

【配付物】

- 試験問題
- 原稿用紙(A3)×1枚
- 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

美術専攻 日本画コース

素描(6時間)

【問題】

東アジアにおける日本画を考察したときに、自らが描くべきことは何かを想像し制作しなさい。

【条件】

1. 答案用紙は縦横自由。
2. 答案用紙の裏面中央に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙(木炭紙または画用紙から選択)×1枚
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

小論文(2時間)

【問題】

新型コロナウイルスの蔓延、また、ウクライナとロシアの間の戦争をはじめ、世界は大きく変化しています。あなたは、造形を通して、未来に向かってどんな表現をしていきたいですか。あなたの考える未来の姿と自分の作品との関係を、800字以内で述べてください。

【条件】

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

美術専攻 油絵コース

小論文(2時間)

【問題】

油絵ならではの表現効果を有する有名な作品を1点挙げて、その特長を具体的に説明せよ。

(800字以内)

【条件】

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

美術専攻 版画コース

小論文(2時間)

【問題】

版画を芸術たらしめる要件は何か、自分の考えを述べよ。

(800字以内)

【条件】

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

美術専攻 彫刻コース

デッサン(6時間)

【問題】

与えられた用紙の中に、これから展開しようとする自己の作品を実物大で描きなさい。

なお、全体が入りきらない場合は、主要部を描くこと。

【条件】

1. 描画材は自由。
2. 答案用紙(画用紙)は縦横自由。
3. 答案用紙の裏面に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙(90cm×180cm画用紙)×1枚
3. 下書き用紙(B4上質紙)×3枚

美術専攻 美学美術史コース

小論文(2時間)

【問題】

作品の属性の一つに「大きさ」がある。作品の大きさは制作の方法、表現効果、鑑賞のされ方、流通の形態など、さまざまな点で作品の性格を規定する。作品の大きさに関わる事象について、具体的な例を挙げて、述べなさい。

(1,200字以内)

【条件】

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

外国語(英語)(1時間)

【問題】

以下の英文を日本語に訳しなさい。
※英文は非掲載とします。

【配付物】

1. 試験問題
出典：Dana Arnold, ART HISTORY: A Very Short Introduction, Oxford University Press, New York, 2004, pp.105,112
2. 解答用紙×1枚

専門基礎(筆記試験)(1時間)

【問題】

次の事項の中から任意に5つを選び、各事項の説明を解答用紙に簡潔に記述しなさい。

1. 天橋立図／2. アルブレヒト・デューラー／3. ウィリアム・モリス／4. 青不動／5. キュビズム(立体派)／6. 河野鷹思／7. 佐伯祐三／8. 新古典主義／9. 創作版画運動／10. 走泥社／11. 高村光太郎「手」／12. ネフェルティティ首像／13. ヒエロニムス・ボッシュ／14. 百鬼夜行図／15. フォトグラム／16. ヘレニズム美術／17. ミハエル・トーネット／18. もの派／19. ユーゲントシュティール／20. 寄木造

【配付物】

1. 試験問題
2. 解答用紙×1セット

美術専攻
芸術文化政策コース

小論文(2時間)

【問題】

別紙の文章は、美術史研究者・木下直之による「芸術の生まれる場」についての小論(一部抜粋)である。この著者の主張を要約した上でその内容を踏まえて、近現代日本の美術館をめぐる課題や、社会における今後の展開の可能性について、あなたの考えを1,200字以内で述べなさい。その際、必ず20字以内のタイトルをつけなさい。

※別紙は非掲載とします。

【条件】

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 別紙×1枚
出典：木下直之編『芸術の生まれる場』、東信堂、2009年、i-iv頁。
3. 原稿用紙×1セット
4. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

外国語(英語)(1時間)

【問題】

次の英文は、André Leroi-Gourhan, “Gesture and Speech”のIII章 “Ethnic Symbols” からの抜粋である。全文を和訳しなさい。
※英文は非掲載とします。

【配付物】

1. 試験問題
出典：André Leroi-Gourhan, Gesture and Speech, The MIT Press, 1993, p.281.
2. 解答用紙×1枚
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

デザイン専攻
視覚伝達デザインコース

小論文(2時間)

【問題】

別紙は、『世界大百科事典』の「コミュニケーション」項からの抜粋で、「メディア」について記述されたものである。

この資料を参考にして、メディアと視覚伝達デザインの関係についてあなたの考えを述べなさい。

文章のはじめに必ず表題(タイトル)をつけ、1,200字以内で記述すること。

【条件】

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. タイトルは原稿用紙の1行目に記入し、2行目から解答文を記入すること。タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 別紙×1枚
出典：『改訂新版 世界大百科事典』、平凡社、2007、第10巻493頁。
3. 原稿用紙×1セット
4. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

デザイン専攻
工芸工業デザインコース

構想力テスト(3時間)

【問題】

「優しさ」をテーマにデザインしなさい。

【条件】

1. 答案用紙の①タイトル欄に20字以内の題名を記入すること。
2. 答案用紙の②本文欄にコンセプトを記入すること(400字以内)。
3. 答案用紙は指定字数に従って縦書きで使用するこ
4. 構想を伝えるスケッチをスケッチ用紙に描くこと。
5. スケッチ用紙に描くスケッチの点数は自由とする。
6. スケッチ用紙は横長で使用するこ
7. スケッチ用の画材は自由とする。
8. 答案用紙・スケッチ用紙の両方とも提出すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙(B4)×1枚
3. スケッチ用紙(B3アラベール紙)×1枚
4. 下書き用紙(B4上質紙)×4枚

デザイン専攻
空間演出デザインコース

立体構成(3時間)

【問題】

夢の中のかたちを自由に表現しなさい。

【条件】

1. 配付されたスチレンボード(3mm厚)、ケント紙を使用して立体をつくり、台紙(スチレンボード5mm厚)上に立体構成すること。
2. 台紙に制作物を固定のうえ、右下にタイトルを明記すること。
3. 着色は任意とする。
4. 原稿用紙にコンセプトを記入すること(100字以内)。

【配付物】

1. 試験問題
2. スチレンボード(B3サイズ、3mm厚)×1枚
3. ケント紙(B3)×2枚
4. 台紙用スチレンボード(B3サイズ、5mm厚)×1枚
5. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚
6. スチレンのリ×1本
7. 両面テープ×1個
8. 原稿用紙100字×1枚

デザイン専攻
基礎デザイン学コース

小論文(2時間)

【問題】

「サスティナビリティ」という考えは、あなたの創作活動にどのような影響を与えていると考えますか?自身の制作・研究を交えて論じなさい。

論旨に適した題名をつけなさい。

(600字以内。題名も指定字数に含む。)

【条件】

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用するこ
2. 題名は原稿用紙の1行目に記入し、2行目から解答文を記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1枚
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

外国語(英語)(1時間)

【問題】

グラフィックデザイナー、ヘルムート・シュミットが「日本の美」について書いた文章を和訳しなさい。
※英文は非掲載とします。

【配付物】

1. 試験問題
出典：Helmut Schmid, Japan Japanese: the quiet beauty of things Japanese, Robundo, Japan, 2012, p.6.
2. 解答用紙×1枚

造形構想専攻
クリエイティブリーダーシップコース
[一般方式]

小論文(2時間)

【問題】

「地域格差」に関する課題をできるだけ多く挙げよ。そのうち重要と考えられる課題を複数選び、それらの課題に対して独自の観点で解決策を述べ、これからの社会における可能性を論ぜよ。
(日本語で解答する場合1,200字以内、英語で解答する場合600ワード以内)

【条件】

1. 日本語または英語のどちらか一方のみで解答すること。
2. 日本語で解答する場合は、指定の原稿用紙に記入すること。
原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
3. 英語で解答する場合は、指定の英語解答用紙に記入すること。
4. 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 英語解答用紙×1枚
4. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

造形構想専攻
クリエイティブリーダーシップコース
[社会人方式]

小論文(2時間)

【問題】

近年、リカレント教育等において社会人による学び直しが求められている。リカレント教育に関する課題をできるだけ多く挙げよ。そのうち重要と考えられる課題を複数選び、それらの課題に対して独自の観点で解決策を述べ、これからの社会における可能性を論ぜよ。

(日本語で解答する場合1,200字以内、英語で解答する場合600ワード以内)

【条件】

1. 日本語または英語のどちらか一方のみで解答すること。
2. 日本語で解答する場合は、指定の原稿用紙に記入すること。
原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
3. 英語で解答する場合は、指定の英語解答用紙に記入すること。
4. 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 英語解答用紙×1枚
4. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

造形構想専攻
クリエイティブリーダーシップコース
[一般方式]

小論文(2時間)

【問題】

世界中で観光が盛んになり、オーバーツーリズムの深刻化が指摘されるようになった。経済的には豊かになった一方で、オーバーツーリズムによって地域の暮らしや文化が変貌し、環境や地域社会への影響や弊害が出ている。その課題をできるだけ多く挙げ、そのうち重要と考えられる課題に対して独自の観点で解決策を述べ、これからの社会における可能性を論ぜよ。
(日本語で解答する場合1,200字以内、英語で解答する場合600ワード以内)

【条件】

1. 日本語または英語のどちらか一方のみで解答すること。
2. 日本語で解答する場合は、指定の原稿用紙に記入すること。
原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
3. 英語で解答する場合は、指定の英語解答用紙に記入すること。
4. 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 英語解答用紙×1枚
4. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

造形構想専攻
クリエイティブリーダーシップコース
[社会人方式]

小論文(2時間)

【問題】

「子どもの不登校」に関する課題をできるだけ多く挙げよ。そのうち重要と考えられる課題を複数選び、それらの課題に対して独自の観点で解決策を述べ、これからの社会における可能性を論ぜよ。

(日本語で解答する場合1,200字以内、英語で解答する場合600ワード以内)

【条件】

1. 日本語または英語のどちらか一方のみで解答すること。
2. 日本語で解答する場合は、指定の原稿用紙に記入すること。
原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
3. 英語で解答する場合は、指定の英語解答用紙に記入すること。
4. 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 英語解答用紙×1枚
4. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

造形構想専攻
映像・写真コース

小論文(2時間)

【問題】

「容器は空虚に形を与え、音楽は静寂に形を与える。」(ジョルジュ・ブラック、1952年)
この言葉を踏まえて、映像についてあなたが考えることを論じなさい。

(600字以内、タイトルを20字以内で記入すること)

【条件】

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. タイトルは原稿用紙の1行目に記入し、2行目から解答文を記入すること。タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1枚
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

造形芸術専攻

小論文(2時間)

【問題】

以下の設問からいずれか一つを選び1,200字以内で論述しなさい。

なお、選択した設問の番号を原稿用紙の1マス目上部(枠外)に明記すること。

(1)表現者が発見した独自の視点、創造をめぐる思考や発想、造形を生み出す身体性や感性などがさまざまな人々の活動や生活において活用されたり、新たな示唆を与えようとする考え方があります。この意見を踏まえて、表現者の存在の社会的な意義や意味について、あなたの考えを述べなさい。

(2)20世紀初頭、欧州に起こったさまざまな前衛芸術運動は、伝統的な美の枠組みを取り払い、新しい時代の到来を予感させ、今日に至るまで時代を牽引してきた。それから100年を経た現代において、既成の価値観に囚われず、次世代を切り開く美術やデザインの胎動が認められるとしたら、どのような動きであるのか、あなたの考えを述べなさい。

【条件：設問(1)(2)共通】

- 1行目に20字以内でタイトルを書くこと
- 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用するこ
- 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. B4上質紙(下書き用)×1枚

外国語(英語)(1時間)

【問題】

以下の英文を日本語に訳しなさい。

出典：Bruno Munari, *Design as Art*, Penguin Books Ltd., 1966, pp.196-197

※英文は非掲載とします。

【条件】

辞書の使用を認める

【配付物】

1. 試験問題
2. 解答用紙×1枚
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

造形構想専攻

小論文(クリエイティブリーダーシップ)(2時間)

【問題】

(1)あなたの研究にもっとも関連する論文の概要と今後の研究との関連や展開について600字以内で論述しなさい。

(2)以下の設問からいずれか一つを選び1000字以内で論述しなさい。なお、選択した設問のアルファベットを原稿用紙の1マス目上部(枠外)に明記すること。

A) デザインにおける脱植民地化の概念を説明し、その重要性について論じなさい。

B) デザイン倫理と、その重要性について論じなさい。

C) デザインが公共政策にどのように貢献できるかについて論じなさい。

【条件：設問(1)(2)共通】

1. 表題はつけなくてよい。
2. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用するこ
3. 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. B4上質紙(下書き用)×2枚

小論文(映像・写真)(2時間)

【問題】

(1)あなたの研究にもっとも関係する論文の概要と今後の研究との関連や展開について論述しなさい。

(600字以内)

(2)今世界で起きている様々な社会問題の中で、自分が最も関心を寄せかつ心を痛めていることについて教えてください。現在の状況、その背景や原因と考えられること、解決の糸口となる可能性や自分の言動が助力になり得ると思うこと、理想のヴィジョンとその実現のための方法論について、字数が許す限り要領よく論述しなさい。

(1000字以内)

【条件：設問(1)(2)共通】

1. それぞれ表題をつけること。
2. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用するこ
3. 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. B4上質紙(下書き用)×2枚

武蔵野美術大学 入学試験問題集 2024
外国人留学生特別選抜・帰国生特別選抜
編入学選抜
修士課程選抜・博士後期課程選抜

発行 | 武蔵野美術大学
〒187-8505
東京都小平市小川町1-736

発行日 | 2024年6月1日
企画・編集 | 武蔵野美術大学 広報入学チーム
TEL:042-342-6038

アートディレクション | LABORATORIES
デザイン | 柳川智之、小野晴世
編集 | 成田敏史
写真撮影 | いしかわみちこ
印刷 | 株式会社八紘美術

本冊子の図版及び文章の無断転載を禁ずる。
Copyright©2024
Musashino Art University All Rights Reserved.